

初春狂言 福来る。

東西狂言会

平成30年

日時 2月2日 金

午後5時30分・開場
午後6時30分・開演

会場 岡山市民会館

主催 RSK山陽放送

特別協賛 吉備システムグループ

後援 岡山県・岡山県教育委員会・岡山市・岡山県郷土文化財団

岡山県公民館連合会・岡山県会館・岡山県山陽門店会・山陽新聞社

協力 桑原専慶流・岡山県本部・茶道表千家 松田不濁菴 社中

◎解説 野村萬斎
◎狂言 いぬやまぶし

「犬山伏」 大藏流 茂山 千作

「隠狸」 和泉流 野村 萬斎

「六地藏」 和泉流 野村 萬斎

和泉流 野村 萬斎



鑑賞料

未就学児はご入場
いただけません。

S席:6,600円(当日券6,900円)

A席:5,100円(当日券5,600円)

自由席:3,000円

●チケットのお求めは・・・岡山市民会館、岡山シンフォニーホールチケットセンター、ぎんざや、山陽新聞社サービスセンター、インディスク(倉敷天満屋4F)、岡山県音楽文化協会
●チケットぴあ Pコード 482-302 ●ローソンチケット Lコード 62675 ●セブン-イレブン(セブンチケット) <http://7ticket.jp>
●お問い合わせは・・・RSK企画事業部 086-225-7300(平日 9:00~18:00)



吉備システムス。ペシャル 東西狂言会 初春狂言福来る。

■解説《野村萬齋》

狂言

いぬやまぶし
犬山伏

〔出家〕茂山千作
〔茶屋〕茂山 茂
〔山伏〕茂山千五郎
〔犬〕島田 洋海

檀家廻りの出家が茶屋で休んでいると、横柄な山伏がやつて来て、茶屋に文句をつけ始めます。その上、態度が生意気という理由で、出家に自分の荷物を持つように迫ります。みかねた茶屋の亭主が、どう猛な犬を手なづけたい方の勝ちとしようとして提案し、あらかじめ出家には犬の手なづけ方を教えます。出家が茶屋の亭主に教えたれた経を唱えると、犬はおとなしくなりますが、一方山伏が折ると…。

大藏流では明治以降「廃止狂言」に入れられている、上演機会の少ない曲です。横柄な山伏と、人のよい禰宜を扱った「禰宜山伏」とほぼ同じ筋立てです。

狂言
かくしだぬき
隠

狸

〔太郎冠者〕野村 萬齋
〔主〕高野 和憲

主人に隠れて狸を捕っている太郎冠者。噂を聞いた主人は、狸汁を振舞おうと客を招いたと告げるが、太郎冠者が狸など捕ったことはないと言わねば、それならば市場で買ってくるよう命じる。実は昨夜も大狸を捕まえていた太郎冠者は、主人に黙って売ってしまおうと市場へ行くが、様子を見に来た主人と出くわしてしまふ。太郎冠者は狸を隠して必死に取り繕うのだが、主人に酒を勧められると…。

主人と太郎冠者の絶妙な駆け引きが笑いを誘います。酒宴の場面に登場する狂言小舞「兎」「花の袖」「鶉飼」も見どころとなっています。

狂言
ろくじぞう
六地藏

〔徒者〕野村 万作

〔田舎者〕深田 博治
〔徒者〕中村 修一
〔徒者〕野村 太郎
〔徒者〕内藤 連

田舎者が地藏堂に六体の地藏を安置しようと都に仏師を探しに行く。すると徒者(いたずらもの)のすっぱ(詐欺師)が声をかけてきて、自分こそが真の仏師であると偽り、翌日までに六地藏をつくる約束をして田舎者と別れます。すっぱは仲間を呼び出し、地藏に化けて田舎者をだますことにする。さて翌日、田舎者が地藏を受け取りにやってくる。地藏は三休しか見あたらない。もう三休はどこにと問うと…。

演者が所狭しと舞台を駆け回る賑やかな作品です。すっぱは田舎者をだまし通せるのでしょうか。本舞台と橋掛りを上手く使った、狂言ならではの表現もお楽しみください。



吉備システムグループ

吉備システム(株)
ケイ・エス・エス(株)
吉備エンジニアリング(株)
岡山リゾート開発(株)

吉備ゴルフクラブ(株)
鬼ノ城ゴルフ倶楽部(株)
鬼ノ城ファーム

岡山債権回収(株)
ピーファイル(株)
岡山新企画